

生命倫理 ワークシート A

Aグループのテーマは **ダウン症とはどんなものを正確に捉える**

Q1 ダウン症として生まれてきた場合、その人は何ができて、何ができないのだろうか。

	項目	予想：○か×	資料で確認
1	歩いたり、喋ったりするなど健常者と同様のスピードで成長する。		
2	成人すると意思疎通は概ね可能で、好きな芸能人について話すこともある。		
3	特別支援学校か通常の学校の特別支援学級へ進学する。		
4	複雑な作業や一人での通勤・就労は難しいため 成人後は企業で働かず施設に入るのが一般的である。		
5	音楽に合わせて踊ったり、外国語を習得したりするなど 高度な技術の習得は難しい。		
6	ダウン症の「ダウン」とは「人より劣った」という意味であり、 ダウン症は「病気」である。		

Q2 資料から読み取れる**ダウン症の特徴**を箇条書きでまとめよ。また上記の予想についても可能な限り確認すること。

Q3 育児や就労で、特に（本人および家族が）苦勞する点はどんな点か、資料を元にあなたが気になった点を自由に書くこと。

Q4 上記を踏まえて、ダウン症児の出生・育児や出生前診断についてあなたの考えをまとめよ。

1年 組 番 氏名

生命倫理 ワークシート B

Bグループのテーマは 障害者を排除した歴史についてナチスドイツの例を学ぶ

Q1 あなたにとって「障害」とは何か。以下のうち、あなたが「障害」だと考えるものはどれか。

	項目	障害だと考える：○ 障害ではないと考える：×
1	生まれつき盲目である	
2	花粉アレルギーである	
3	片耳が聞こえにくい	
4	気分が落ち込みやすく、よく憂鬱な気持ちになる	
5	お腹が痛くなりやすく、1週間に一度は保健室に行く	
6	50mを10秒以内で走れない	

Q2 ナチスドイツはユダヤ人だけでなく大勢の障害者をも迫害したことで知られている。その際、基本となったのは**優生思想**という考え方である。この**優生思想**はどのような考え方か。

Q3 「T4作戦」とはどのような内容の作戦（目的、対象者、被害者数等）だったか。またあなたにとって「障害」の定義とはどのようなものか、考えを書け。

Q4 ナチスの事例を踏まえて、「障害者」や出生前診断に関するあなたの考えを述べよ。

1年 組 番 氏名

生命倫理 ワークシート C

Cグループのテーマは 新しい科学技術の活用についてフランスの事例から考える

Q1 科学者の責任について、以下の各文についてあなたはどうか考えるか。

	項目	そう思う：○ そう思わない：×
1	原爆投下は広島や長崎に惨劇をもたらしたが、 原爆を開発した科学者に責任はない。	
2	出生前診断は多くの「産まれなかった命」をもたらしているが、 導入した医師や病院、開発した科学者に責任はない。	
3	原爆投下において、科学者や政治家に責任はなく 結局はそれを投下したパイロットの責任である。	
4	出生前診断は多くの「産まれなかった命」をもたらしているが、 結局はそれを活用するかどうか決めた妊婦の責任である。	

Q2 資料から、CCNE 委員長のアメゼン医師は①出生前診断において何が重要であると考えているか。
②フランス社会における障害者の受け入れ状況についてどう語っているか。

Q3 資料から、ルブラン医師は出生前診断に使うお金をどのように活用すべきと考えているか。

Q4 アラー副会長のインタビューによると、フランスでの出生前診断の実施状況（特に妊婦に対する
診断後の説明）はどのようになっているか。箇条書き等でもよいのでまとめよ。

Q5 上記を踏まえ、「科学者（医師）の役割や責任」についてあなたの考えを述べよ。

1年 組 番 氏名

理数科 生命倫理 ワークシートⅡ

A

B

C

出生前診断技術は精度が高く、多くの病院で活用され始めている。しかしながら、産まない選択をする夫婦も非常に多い。この出生前診断という新たな技術について、優生思想、ダウン症の実態、海外(フランス)での実施状況の3つの観点を踏まえて、あなたの考えをまとめなさい。

2年 組 番 氏名